



# 病院NEWS

no. 377  
2015  
11/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

## 「既設建物の改修工事が始まりました」

### 病院再開発推進室

病院再開発整備事業の進捗状況につきましてご報告致します。手術棟新営工事は10月30日に竣工し、現在、運用開始に向け準備を整えているところです。手術棟竣工に先立ちまして、既設建物改修工事が開始されています。現在、工事が進行している主な建物・エリアは、東病棟、中病棟地下エリア、中央診療棟2階の検査部生理機能検査エリア、RI病棟などです。中央診療棟1階放射線部の機器更新に伴う頭部撮影室の改修工事は既に完了しています。

東病棟は平成28年2月に改修が完了し、平成28年5月頃から運用開始予定です。改修された東病棟では、入院患者さんの療養環境と快適性の向上をはかるため、廊下幅がゆったりと拡張され、従来あった6床病室が解消され広い4床病室へと生まれ変わります。さらに、近年の患者さんのニーズに応えるため、東病棟南側には多くの個室が配置されます。

中病棟地下エリアでは厨房への改修工事が行われていますが、年内に完成予定です。工事完了後、新厨房において調理や盛り付けなどのシミュレーションを経て、平成28年1月早々、患者給食の拠点として新厨房の稼働が開始される予定です。現在の厨房は中病棟1階にあります。新厨房稼働後に、厨房跡地では薬剤部等への改修工事が始まります。

中央診療棟2階検査部の生理機能検査エリアは年内に工事が完了し、移転作業終了後、運用を開始します。RI病棟は、改修のため本年6月から診療を休止しておりましたが、平成28年1月中に工事完了、3月頃から診療再開予定です。

今後、改修対象の病棟ならびに外来・中央診療棟では、工事計画に基づき決められた区域毎に順次、新たな工事が開始されていきます。改修工事施工に伴う騒音・振動等の発生や、仮設間仕切り壁設置による通路の狭隘化など、患者さんをはじめ関係する皆様方には大変にご迷惑をお掛けしておりますが、何卒ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。



▲外部足場が組立てられた東病棟



▲仮設間仕切り壁で囲われた検査部エリア



▲厨房に改修される中病棟地下エリア



▲厨房エレベータ改修のため仕切られた病棟ディールーム

## 内閣府平成27年度総合防災訓練・大規模地震医療活動訓練

救命救急センター 黒田 泰弘

2015年9月1日、大学DMATチーム5人は、首都直下地震など大規模災害時における海からのアプローチによる医療機能の提供に係る実証訓練という目的で、最新最大のヘリ護衛艦(ヘリ空母)「いずも」での医療活動を行いました。「いずも」は羽田空港に接岸し、羽田空港に設置されたSCU(Staging Care Unit)と一体運用されているとの想定です。首都圏の各災害拠点病院から羽田SCUに移送され、首都圏外に広域医療搬送される傷病者の一部が「いずも」に搬送され治療を行うというmissionでした。

「いずも」では、広い格納庫(全長250m)の3分の一程度が診療区画として、トリアージ、赤救護所、黄救護所、緑救護所がすでに設置され、輸液ポンプ、人工呼吸器、酸素などの資機材はすべて完備していました。また別の階に広い調節本部室があり、さらに手術室1室、集中治療室が1室、後方ベッドも10床程度確保され、医療区画となっています。これらの部署と交信しながらの訓練になりました。

訓練内容は、羽田SCUなどから搬入される傷病者をトリアージして赤黄緑に分けさらに二次トリアージし、搬送に耐えうるだけの処置を施すこと、必要時応じて緊急手術を行うこと、術後経過もフォローすること、というものです。結果的に3時間の訓練で計3人を手術しました(硬膜下血腫除去、開腹止血、開胸止血)。私は、自衛隊の衛生班のリーダーとともに本部機能を担当しましたが、当初EMIS(広域災害救急医療情報システム)の不良もありその都度、別の方法で情報のgetに行くことになりました。途中で何回も防衛大臣、議員団等が見学に来られましたが、通信不良など課題もあきらかとなった訓練でした。

頑張ってくれた隊員諸君、準備などをしてくれた皆様にお礼申し上げます。



▲訓練の様子(中央:黒田センター長)



▲訓練の様子



▲「いずも」



▲「いずも」内の様子

## 認知症疾患医療連携協議会

医療支援室



平成27年9月10日(木)17:00より医学部会議室において、第8回大川地区・木田地区認知症疾患医療連携協議会が開催されました。当院は香川県より認知症疾患医療センターの指定を受けており、センター運営の一環として医療と介護の連携強化を目的に、日頃地域での医療・介護に携わる地域医療機関や地域包括支援センター等の施設から委員の方々にお集まり頂き、年2回開催しています。この日は、香川県全体の認知症医療に関する連携体制や認知症初期集中支援チームについて協議、情報を共有し連携を深めました。

## イキイキさぬき健康塾 -香川大学病院と最新医療-

「ここまでできる脳卒中の最新治療」

平成27年12月6日(日) 11:00~12:00

丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町壱番街東館4階

講師:脳神経外科 脳卒中診療部 川西 正彦 講師

参加費無料、事前申込不要 問合せ先:総務課 電話:087-891-2008(平日9時~17時)

## 病院訪問について

地域連携室(事務部次長 白川 博章)

本院では、かかりつけ医からの紹介を「断らない」「希望日での予約取得」「返事を待たせない」の基本方針を徹底しているところですが、今年5月より、地域連携室が主となり、病院訪問を実施中であります。

訪問の目的は、次のとおりです。

- ①高度医療をより多くの患者さんに効率よく提供するという大学病院の責務を果たす。
- ②受入先医療機関の拡充による、円滑なベッドコントロールを図る。
- ③連携強化を図り、顔の見える連携を行う。

既に、16病院を訪問しています。本院の訪問者は、横見瀬病院長、舩形地域連携室室長、藤本地域連携室副室長、岩部副師長、白川事務部次長、川口主任MSW、小田MSWで、訪問先では病院長、地域連携の担当の方々に対応をお願いしています。

### [大学の説明内容]

- 本院の紹介・逆紹介率に関する説明
- 病院再開発に伴う病床数の減少から、更なる患者の受入れ(転院)の協力を依頼
- 救命救急センターなど、短期間で転院先を確保する必要がある状況の説明 等

### [訪問先での主な要望]

- 大学病院から転院した患者が急変した場合など、対応困難な事態が発生した場合は、迅速に大学病院で受け入れてほしい。
- 急性期病院であることを分かっておいて欲しい。長期入院できないため、次の行き先を決めておくをお願いしたい。また本院で出来ることが限られているため、どこをゴールとするか事前に家族に説明しておいてほしい。
- 介護保険の認定が下りるまで約1ヶ月を要するため、大学病院で入院中に介護保険の申請をしてほしい。又は、申請を患者、家族と検討して欲しい。など訪問先病院でいただきましたご意見・ご要望にはスタッフ一同、全力をあげフィードバックして参りますので、皆様の一層のご協力・ご支援をよろしくお願い致します。



▲地域連携室のスタッフ

## 間質性膀胱炎ってどんな病気?

泌尿器・副腎・腎移植外科 助教 平間裕美

おしっこが近い、我慢が出来ない、おしっこがしたくなると下腹部が痛い…このような症状を経験したことはありませんか?これらの症状を引き起こす原因のひとつに「間質性膀胱炎」という病気があります。間質性膀胱炎とは、尿が膀胱の間質(上皮と筋肉の間)に染み込んで慢性的に炎症を起こす病気です。しかしその原因はよく分かっていません。

日本における間質性膀胱炎の患者数は20~40万人と推定されており、なかでも中高年の女性に多くみられます。診断の決め手は膀胱におしっこがたまった時の膀胱痛です。しかしこの膀胱痛は間質性膀胱炎患者のわずか半数以下にしかみられないといわれています。また、症状の種類や程度が人によって大きく違うこともこの病気の特徴です。頻尿だけの場合もあれば、痛みで椅子に座れないほど症状が強い場合もあります。痛みの場所も膀胱・尿道だけでなく膣や腰にもおよぶことがあり、日常生活に影響を及ぼすことも少なくありません。さらに尿検査や超音波検査では異常がみられないため、非常に診断が難しい病気です。

私たち泌尿器科医は、膀胱痛や1回排尿量などを参考に間質性膀胱炎を疑います。そして診断と治療をかねて水圧拡張術を行います。間質性膀胱炎の患者さんでは、水圧拡張術時に点状出血やハンナー潰瘍などといった特徴的な所見がみられます。水圧拡張術で症状も改善しますが、その効果は約半数の患者さんにしかみられません。しかもその多くは一時的なもので、再治療や追加治療が必要となります。そのほかの治療としては内服薬や薬剤の膀胱内注入療法があります。しかし間質性膀胱炎は原因不明の疾患であるため、残念ながら根本的に治すための確立された治療はありません。むしろ症状緩和のための対症療法がおもな治療になります。冷えやストレス、特定の食べ物でも悪化することがあることも念頭において日常生活を送る必要があります。

間質性膀胱炎とまぎらわしい病気に、細菌性膀胱炎や過活動膀胱があります。治療をしても良くならない場合には、間質性膀胱炎を疑って専門医を受診しましょう。

毎日新聞「四国健康ナビ」H27.7.7掲載

## 第7回お月見で笑を開催

医療支援室

9月16日(水)18時30分から、医学部附属病院1階玄関ホールで秋の院内イベント「お月見で笑(ショー)」を開催しました。

NHK文化センター高松教室で「お笑い福祉士入門(講師:落語家 笑福亭学光)」を受講している生徒さん達7人が、当院の入院患者さんに早く良くなってもらうことを願い「笑いは健康の源」として落語・手品・南京玉すだれなどを披露してくださいました。抱腹絶倒の1時間でした。



## 臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長  
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H27.11~12月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
11/1	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町番街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「正しいスキンケアで皮膚がん予防」	総務課	(087)891-2008
11/18	14:00~16:00	病院2階 カンファレンスルーム	H27年度第3回腎臓病教室 (要予約・外来担当医師までお申し出ください)	腎臓内科	(087)891-2267
11/24	14:00~15:30	病院2階 カンファレンスルーム	肝臓病教室	肝炎相談窓口(地域連携室)	(087)891-2468
11/28	9:00~	かがわ国際会議場 サンポートホール高松	第33回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会	麻酔・ペインクリニック科	(087)891-2223
11/29	14:00~16:10	サンサン館みき	肝臓病 市民公開講座	肝炎相談窓口(地域連携室)	(087)891-2468
12/6	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町番街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「ここまでできる脳卒中の最新治療」	総務課	(087)891-2008

## 看護職員募集

### 中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

### 編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、小野(総務)、  
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、  
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、  
村上(病棟)、横井(情報)、横山(管理)、  
吉野(医事)

〔委員長 横見瀬病院長〕